

主任児童委員のみが活動するのではなく、民生児童委員や老人福祉員の皆さんの力もお借りしています。民生児童委員の方と一緒に訪問して『バンブー』のご案内や何かあれば、いつでもご連絡をと連絡先をお渡しして対象のご家庭を一件、一件訪問しています。

バンブーは民生児童委員や老人福祉員の方も参加して、お母さんたちがお話を聞いたり交流されている間、横で子どもたちと一緒に遊んでくださっています。

赤ちゃん誕生お祝い訪問事業

紫竹学区でも平成25年度から、赤ちゃん誕生お祝い訪問事業が始まりました。保健師さんの訪問の際に紹介いただき希望のあった場合は主任児童委員が、お生まれになった赤ちゃんのいるご家庭へお祝いに訪問します。その際に『バンブー』のご紹介等子育てに関する情報提供もさせて頂いています。顔見知りの関係になって気軽に何でも相談していただければと思います。

主任児童委員としての思い

主任児童委員はどのような役割か、まだ地域のほとんどの方はご存知ないと思います。地域での役割や活動を知っていただくことが必要だと思っています。知っていただくことで、気軽にご相談をお受けしたり、地域の情報などもお伝えしやすくなるからです。

子どもを通じて学校、保護者、行政機関、団体などがネットワークを作り地域の中で連携して行くことが大切であると考えています。

「地域のなかに若者の力を！」

大宮学区民生委員副会長 **長谷川 修子**さん

聞き手 藤田 光里

民生委員副会長として、大宮地域を30年守ってこられた長谷川修子さんにお話を伺いました。

私が民生委員になった頃は、高齢者や生活保護の方のお宅へ訪問する機会が多くあり、顔を合わせてお話しすることが頻繁でした。制度が変わり、個人情報保護法などができ、以前のような関わりは難しく、訪問する機会もすっかり減りました。町内会の繋がりも希薄になり、仕事が忙しい、町費が払えない、役を担えないなどの理由で町内会に入らない家庭も増えています。

地藏盆で集まる子供の姿も少なくなりました。以前に、町内の地藏盆で被災食を作るという取組をしました。参加を呼びかけると、親御さんから「子供は塾がありますので」と断りを受けました。しかし、個別に子供に呼びかけてみると、中学生の男の子が3人も快く手伝ってくれたのです。ハイゼックスという袋で米を炊いたり、ボウル型の容器に材料を入れておもしろい振りアイスを作ったりと、いろいろな企画を試みました。高齢者も交えて、たくさんの子

供たちが一緒に楽しむ姿から、「人と人が繋がる大切さ」「一緒に何かをする喜び」を教えてもらえました。これからの時代に必要なのは、人とのつながりです。その中心に大切なのが、若い人の力です。若者の力で、活気あふれる地域のネットワークづくりに結び付けていけたらと願います。

いつの時代も、子供がもつ力はあたたかく、大きなものです。長い間、地域の子供たちを見守ってこられた長谷川さんの笑顔からは、ぬくもりあふれる優しさが伝わってきました。大震災のときのように、何か起きた時、遠くにいる親戚が急いでかけつけるより、近くにいる支援者が少しのぞくだけで力になれることもあるかもしれません。いざという時に助け合えること関係づくりは、毎日の挨拶のように日頃の何気ないやりとり、ふれあいのなかで築かれるのかもしれないね。

事業のお知らせ

北区地域介護予防推進センターでは、「鷹峯」と「待鳳」で介護予防を目的とした運動・栄養・口腔の教室を実施しています。

“基本チェックリスト”の結果で、より積極的に介護予防事業に参加する必要があるとされた方は、高齢サポート・紫竹に相談していただき、必要とされる教室に参加することが出来ます。それ以外の方は、京都ライトハウスや北老人福祉センター、御園橋801広場などで実施する体操教室や、北老人福祉センターで実施する脳トレドリルを使用した認知症予防の教室(やわらか頭教室)に参加することができます。

「身体を動かした方がいいのはわかっているけど、どうしたら？」と思われたら一度健康塾にご参加いただき、ご相談ください。



KITARO
ハッスルマッスル

京都ライトハウス
健康塾

